

法人理念	支援や配慮を必要とする人と その家族の生活を支えていくことを第一に ひとりひとりの可能性を信じ 日々の暮らしの中で個性に働きかけをして 人への愛着感や信頼感 そして自信・意欲を得られるよう支援します 本人や家族にとって 出会いや繋がりの場となり 地域の中や希望する生活の場で自分らしく暮らせるよう 共に考え歩いていきます		
支援方針	小集団での分かりやすいプログラム構成の中で、見通しを持って、安心して活動に参加できるように支 援していく。また、遊びの中で様々な体の使い方や、お友だちとの関わり方の経験を積み、興味関心が 広がるよう、本人の好き・苦手に着目しながら、無理強いせず遊びに寄り添っていく。人から愛され、褒 められる中で、自信が得られるように関わっていく。		
営業時間	9:00~15:00	送迎実施の有無	無し

プログラム	支援内容(5領域)
朝の会	<社会性/認知・行動/言葉・コミュニケーション> 一定時間着席し、司会者の話を聞いたり、行っていることに注目できるように15分程度の長さで、分 かりやすくメリハリのある内容を設定している。スケジュールボードを見ながら一日の予定を確認し、 見通しを持って一日を過ごせるようにしている。 自分で椅子を準備し片付けたり、パネルシアターの準備や片付け、楽器配りの係活動などを通して、 皆と一緒に行動・参加するという意識やルールが身に付くようにしている。 絵本に注目したり、手遊びなどの模倣などを通して興味の幅が広がるような内容を設定している。 呼名に応じることができるよう、また、他児者の名前や存在を意識できるように呼名を行っている。 数の概念を意識できるよう人数を数えている。
リズム	<認知・行動/運動・感覚> 音楽に合わせ、歩いたり、止まったり、様々な歩き方、リズムの取り方を真似たりする中で、様々な自 分の体をコントロールしたり、リズムに合わせて体を動かす楽しさの体験ができるようにしている。 タッピングでは、相手に体を動かされたり圧を加えられたりする中で自分の体を知り、感覚が統合され るようアプローチしている。
散歩/外遊び	<社会性/認知・行動/運動・感覚/健康・生活> 身支度をし、自分の足で歩き、交通ルールを守り、季節を知り、皆とペースを合わせて歩く習慣が付く よう大人と手つなぎでの公園への散歩を行っている。また、道中のでこぼこ道や坂道、階段など、自分 の体をコントロールする体験の機会としても散歩を設定している。公園では大型遊具で十分に体を動か す機会としている。 また、当施設園庭でもかけっこ・砂遊び・ブランコなどのびのびと過ごせるようにしている。
サーキット	<運動・感覚> 平均台・はしご渡り・階段・でこぼこマット・トンネル・ローリングシーソーなど、渡る・登る・くぐる・揺ら されるなど体幹・足裏などの感覚が統合されるような内容を設定している。
アート	<巧緻運動・感覚/認知・行動> 材料の扱い方などを予め実演し、見通しをもって取り組めるようにしている。 無理強いせず、本人が興味をもって取り組めることを優先し、その中で様々な素材に触れたり、手の 使い方を体験できるようにしている。
昼食	<健康・生活/巧緻運動> 手洗い・準備・片付けなどを自分でできるように支援している。偏食のあるお子さんも多いため、食事 の時間が嫌な時間にならないよう、無理強いせずできるだけ本人のペースに沿うように支援してい る。摂食については保護者や関係機関の情報を共有しながら進めている。
自由遊び	<社会性・人間関係/認知・行動/言葉・コミュニケーション> メインプログラム前・昼食後に自由遊びの時間を設けている。好きな遊びを十分行う中で満足感を得 られると共に、大人や友達との関わりの中で遊びを展開させたり、貸し借りなどの場面で、社会性やコ ミュニケーションの幅が広がるよう支援している。

家族支援

日常生活の中でできることが増え、家庭の中、また外出先などでの困りごとが軽減するよう、支援内容を共有している。また、
 きょうだい・保護者就労など各家庭の状況により相談支援を行っている。必要な情報を共有し、利用曜日などについても柔軟
 に対応している。

移行支援

就園・就学の相談支援、勉強会などを行い、幼稚園・保育園・学校情報などを提供している。

地域支援・地域連携

地域移動支援事業所と連携している。また、地域子育て支援情報や地域イベント情報などを提供している。

職員の質の向上

法人内研修(虐待防止研修)の他、障害理解、地域福祉を理解する研修などを行っている。

主な行事等

園外学習(今年度は消防署見学)、地域子育てサークルとの庭遊び交流、卒園式、保護者地域交流バザー。